

## 編集後記

本誌の発刊を企画した1996年当時、当時の東京都立大学の地理学教室から発刊されていた「理論地理学ノート」の大阪市立大学版を意識したところが強くあった。東西の公立大学の両雄に地理学関係者が比較的多く集まっていることに対して、学界への研究としての貢献をもくろんだものであったが、発刊の財政的な背景には、綿々と続いていた地理思想や地理学における社会理論系の科学研究費の継続的な獲得があった。代表者は変わってきたが、一年だけ切れ目はあったものの、16号を出すことができた。この蓄積は重要であるが、本誌の刊行を通じて地理学のひとつの流れを作り出しているかと問われれば、各寄稿論文や翻訳がある種ノージャンルなところがあり、内心忸怩たるところはある。

恒例のこの編集後記を書くときにいつも来年は出せるのかという不安が頭をよぎる。そろそろこの流れを若手研究者に引き継ぎたいところであるが、とにかくあと1年は頑張りたい。

引き続き編集協力をいただいている四井恵介さんの(有)地域・研究アシスト事務所に大変お世話になった。いつものことながらお礼申し上げたい。PDFでの閲覧は、下記URLを参照していただきたい。

<http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/geo/ja/pub.html>

「空間・社会・地理思想」第16号編集代表者 水内俊雄

---

## 空間・社会・地理思想 第16号

発行日／2013年3月26日

編集／科学研究費基盤研究(B)「言語と物質性からみた地理的モダニティの構築に関する地理学史的研究」(研究代表者 島津俊之)  
編集代表者 水内俊雄

編集協力／(有)地域・研究アシスト事務所

発行／©島津俊之

和歌山大学教育学部地理学教室  
〒640-8510 和歌山市栄谷930  
電話 073-457-7308 ファックス 073-457-7457  
shimazu@center.wakayama-u.ac.jp

印刷／ホウユウ(株)

〒590-0982 堺市堺区海山町1-8-4  
電話 072-227-8231 ファックス 072-224-1466

---